

Istanbul Weekly vol.4-no.21

イスタンブール ウィークリー

発行：在イスタンブール日本国総領事館 発行日：2015年6月8日（月）

2015年総選挙結果の概要

- AKP 単独過半数割れの敗北。焦点は連立政権交渉に。政治の不透明感は継続へ。
- CHP は伸び悩み。MHP は伸長。HDP は10%超えの大躍進で議席獲得。
- 参考論調：エルドアン大統領が震撼した「10 分間」と今後のシナリオ。

政党名	略称	得票率	獲得議席	得票数	選挙前 議席	2011年 得票率	2011年 獲得議席	得票率 の増減
公正発展党	AKP	40,86%	258	18.711.755	311	49,83%	327	-9.05%
共和人民党	CHP	24,95%	132	11.464.691	125	25,98%	135	-0.95%
民族主義者行動党	MHP	16,29%	80	7.490.984	52	13,01%	53	+3.5%
国民民主党	HDP	13,12%	80	5.996.553	29	—	0(35※)	—
その他	Diger	4.74%	—		18			

※HDP は、無所属として選挙に参加し 35 人が当選、選挙後に国民民主党（HDP）としての会派を形成。

●AKP 単独過半数割れの敗北

トルコ国会議員総選挙（定数 550）は、6 月 7 日（日）17 時に投票が締め切れ、開票作業の結果、与党 AKP が第 1 党を確保したものの、得票率は 40.86%と前回の 2011 年総選挙の 49.83%から約 9%減らし 258 議席にとどまり、単独過半数ラインである 276 議席に届かなかった。

今後の政局の焦点は連立政権交渉の行方となるが、交渉の軸となると見られている MHP が早々に連立の可能性を否定していることも含め、AKP と野党各党の主張は隔たりも大きく、交渉はかなりの難航が予想される。2002 年総選挙への初参加での地滑り的大勝を皮切りに、2007 年、2011 年と 3 回の総選挙を勝ち抜いてきた AKP 政権は、13 年目で大きな転換期を迎えた。

大統領職が本来は政党性を帯びない中立的な位置づけであるにも関わらず、エルドアン大統領は、「実質的な AKP のリーダー」として各地を積極的に遊説する選挙戦を展開。しかし、南東部で HDP に大きく水を開けられ、2011 年総選挙では、69 県で第 1 党となったが、今回総選挙では 59 県に後退するなど、全国的に票を減らした。（6 月 8 日付 H 紙 1 面他）

●今後の焦点は連立政権交渉に、政治の不透明感は継続へ
AKP の敗北によって、ダーヴトオール党首の進退や 10 月に予定される AKP 党大会にも大きな注目が集まっている。また、ギュル前大統領や 3 選規定で国会を去ったベテラン議員ら

の今後の動向に着目する向きも多い。

エルドアン大統領と AKP が今次選挙の最大の争点の一つとして掲げていた「実権型大統領制への移行」の実現は、憲法改正を可能にする 330 議席を大きく下回ったことから遠のいた。

更に、AKP 筋からは早くも、連立政権ではなく、単独少数内閣の追求や早期総選挙を実施する可能性に言及する声が出るなど、複数のシナリオが錯綜しており、政治の不透明感の継続は暫く避けられない見通し。（6 月 8 日付 R 紙インターネット版他）

●野党各党の得票状況：CHP は伸び悩み、MHP は伸長、HDP は 10%超えの躍進

野党各党の得票状況は以下の通り。

(1) CHP：伸び悩み（2011 年：135 議席←2015 年：133 議席）

AKP の後退にも関わらず、野党第 1 党の CHP は伸び悩み、2011 年の得票率 25.98%から微減の 24.95%、獲得議席は 133 議席で、前回 2011 年総選挙の 135 議席から微減となった。イデオロギー色を薄め、具体的な経済政策を軸に選挙戦を展開し、広範な支持層の確保を狙ったが、政権批判票の受け皿となることはできなかった。クルチダルオール党首の出身地トゥンジェリで議席を失った他、伝統的に強いとされてきたエーゲ海沿岸部の都市などでも第一党にはなるも伸び悩みが目立ち、HDP への支持票の流出を食い止

められなかった。支持層には一様に失望感が漂っている。

(2) MHP は伸長 (2011 年 53 議席→2015 年 : 80 議席)

MHP は、AKP 政権が推進するクルド和平プロセスを「トルコの一体性を侵害する動き」と激しく批判し、AKP など保守層の懸念を汲み取ったことなどが、前回総選挙の 53 議席から 80 議席まで伸長した要因となったと見られる。一方で、2014 年の地方選挙での得票率と比べると 1.2%減らしており、更に、各選挙区での比例配分の際に死票が多く生じたため、得票率 16.44%での獲得議席は 80 議席に留まり、12.8%の得票率で 80 議席を獲得した HDP と並ばれる結果となり、勝利の高揚感は高くない。

(3) HDP は大躍進 (2011 年 : 35 議席→2015 年 : 80 議席)

今回総選挙の最大の注目点は、HDP が得票率 10%の足切り条項を超えられるか否かであったが、結果として 13.12%の大躍進を果たし 80 議席を獲得。今回総選挙で「一人勝ち」の様相を呈している。なお、クルド系政党が総選挙で政党として議席を獲得したのはトルコ史上初。HDP は、デミルタシュ共同党首の個人人気にも支えられ、支持基盤の南東部で圧勝（ディヤルバクルでは定数 11 の内 10 とほぼ独占）した他、人口の多いイスタンブールなど大都市でも支持層の一部重なる CHP から支持を奪い、全体の得票を着実に押し上げた。

●主要各党の反応

(1) ダーヴトオール AKP 党首・首相

7 日 23 時過ぎ、ダーヴトオール首相は、党本部のバルコニーで集まった支持者にスピーチし、支持への感謝を繰り返し述べつつ、「今回も第 1 党になったのは AKP だ。76 県で議席を確保し、56 県（注：実際には 59 県）で第 1 党となり、全国 7 地域中 6 地域を制した。勝利を宣言した CHP は 37 県で、MHP は 32 県で、大勝利を宣言した HDP は 56 県で議席すら獲得できていない。今後も、トルコの屋台骨は AKP であり続ける。」などと強気の姿勢を崩さなかったものの、首相に笑顔は見られず、後ろに並んだ幹部の表情も一様に硬かった。

(2) クルチダルオール CHP 党首

クルチダルオール党首は、党本部の前で支持者に対し、「一つの時代が終わり、民主主義が勝利した。民主主義に対する『抑圧の時代』に終わりを告げた。トルコの勝利である。」と述べた。しかし、前回総選挙より後退すれば辞任すると公言していたことについて、「辞任を必要とする結果ではない。現時点ではこれ以上コメントしない。」として足早に党本部に入った。

(3) パフチェリ MHP 党首

パフチェリ党首は、党本部前に集まった支持者を前に挨拶に立ち、MHP が 2011 年総選挙と比して得票数・議席数で上昇したとして、選挙結果を評価。その一方で今後の焦点となる連立交渉で MHP が取り沙汰されていることについて、「まず AKP と HDP が連立交渉すべきだろう。次に、AKP・CHP・HDP で交渉すればよい。いずれの連立も成立しなかった場合は早期総選挙を行うべきだ。」と述べて、「MHP は野党に留まり、決して連立には加われない」と、これを強く否定した。

(4) デミルタシュ HDP 共同党首

デミルタシュ共同党首は、イスタンブール市内で記者会見を開催し、「本日をもって、大統領制の議論や独裁制の時代は終わりを告げた。この選挙で、自由の側に立ち続けた者が勝利した。」として、勝利宣言した。また、「AKP とは閣外協力も含めて連立を組むことはしないと述べてきた。この約束を守り続ける。」と述べた。（6 月 8 日 M 紙第 11～

13 面他）

●投票日における不正疑惑等

今回の総選挙では、NGO「投票とその向こうへ」が、全国 45 県、162 の郡で約 4 万人の選挙ボランティアを動員し、選挙監視にあたった。2014 年地方選挙投票日に各地の投票所で停電が発生した件については、今回の選挙でも、イスタンブールの一部の投票所で停電が発生した。また、イスタンブールでは、複数の投票所にナンバーのない車が駐車されている様子が SNS で拡散。イスタンブール県知事は、警察当局の車両ではないと述べて、これらの車の取締りを行った。このほか、全国各地で不正行為や不正疑惑が報じられているが、極めて大きな混乱は見られなかった。（6 月 8 日付 R 紙インターネット版他）

●エルドアン大統領の反応

エルドアン大統領は、イスタンブール市内ウスキュダルで投票を行った際、「国民に感謝する」と述べた。また、8 日昼過ぎ、大統領府はエルドアン大統領のコメントを書面で発表。大統領は、「国民の意思は、全ての上に立つものである。いずれの政党も単独政権を可としなかった選挙結果について、全ての参加政党が健全かつ現実的にこれを受け止めることを信じる。選挙後の新しいプロセスにおいて、国家の安定した、安全な環境、及び民主主義の成果を守るために、全ての政党が必要な配慮を示し、責任ある行動を示すことが非常に重要である。」として、国民を始め、選挙の実施に尽力した全ての関係者に感謝しつつ、選挙結果が国家にとって有益なものとなるよう望んだ。（6 月 8 日付 7+17 通信インターネット版他）

●女性議員の割合、過去最高に

今回の総選挙で、女性議員 96 人が当選し、女性議員の割合は 17.6%とトルコの議会史上最高に達した。内訳は、AKP41、CHP20、MHP4、HDP31 人。（6 月 8 日付 H 紙 28 面他）

●今後の政治プロセス

今後、10 日～12 日間で、高等選挙委員会による公式選挙結果が確定し、6 月 20 日（土）前後を目処に国会が召集され、国会議員が憲法で定められる宣誓を行い、先ずは、国会議長の出選が行われる。

その後、憲法第の規定に基づき、大統領が第一党（ダーヴトオール AKP 党首）に組閣を命じ、首班指名された者は、組閣後に政策綱領が発表され、信任投票に付される。

信任に必要な過半数を得られなかった場合、45 日以内に、新たな組閣が出来ず、又は、組閣が出来ても再び信任を得られなかった場合、大統領は、国会議長と協議の上、早期総選挙を実施し得る。

更に、首班指名された者が、信任投票を問う前に組閣を断念し、首班を返上して辞任した場合、または、国会議長団が選出されて 45 日以内に組閣自体が一回も行われなかった場合も同様に、大統領は国会議長と協議の上、早期総選挙を実施し得る。（6 月 8 日付 H 紙 21 面他）

●参考論調：エルドアンを震撼させた「10 分間」と今後のシナリオ

7 日 19 時 5 分、アナトリア通信が、「AKP45%で 330 議席を超え、HDP9.4%で 10%を下回り議席獲得ならず」と、エルドアンの望み通りの速報を打った。しかし、その僅か 11 分後の 19 時 16 分、同通信社により「AKP44.4%で過半数割れ。HDP は 10.14%」と、正反対に修正された。まさに、エルドアンを震撼させた「10 分間」であった。

今回の選挙は「6 月の教訓」と名づけられる。2002 年総選挙で、34%の得票で単独過半数を得た AKP は、約 40%の得

票で過半数割れした。2011 年の得票率は 50%近くであったが、20%（5 人に 1 人）の有権者の支持を失った結果、単独過半数に遥かに及ばない 258 議席に留まった。ダーヴトオール首相が深夜に党本部のバルコニーで行った演説は、生気がなく、集まった支持者は、首相ではなく「エルドアン」を連呼していた。

さて、AKP の選択肢は、①（かつてのトルコで横行していたように金で）他党議員を引き抜いて過半数を確保する、②信任投票に際し、閣外から野党の支持を求めて少数内閣を発足させる、③野党との連立政権を発足させる、の 3 つしかない。

そして、HDP の躍進は、通常の選挙であれば何の疑問もなく CHP に入れていた 2~3%の都市圏の左派が HDP に流れた結果でもある。その理由は、①エルドアンによる強権的な大統領誕生の阻止と、②有権者が、もはやこれまでのようにクルド人が「クルドの政治」を追求するのではなく、「トルコ政党化」する必要があるとの HDP の主張に納得したからだ。今回、HDP が僅差ではなく、大差で 10%を上回ったことは、トルコ政治にとっての転換点となっただけではなく、クルド政治の将来を変えるものでもある。（6 月 8 日付 R 紙インターネット版、ムラット・イェトキン氏）

【参考データ】

	2015年総選挙	2011年総選挙
有権者数	56.632.889	52.806.322,00
投票総数	47.067.079	43.914.948,00
投票率	81,73%	83,16%
有効票数	45.690.971	42.941.763,00
無効票数	1.376.108	973.185,00

※本データは、6 月 8 日（月）11:00 時点の当地報道（非公式結果）を取りまとめたもので、特に、「得票率」の数字は報道各社によって異なります。高等選挙委員会（YSK）による公式な確定結果は、後日で発表される見込みです。

注：本文中の略語の正式名称は以下の通りです。

略語	正式名称	略語	正式名称
AFAD	首相府緊急災害事態対応総局	ÖSB	PKKの防衛隊
AKP	公正発展党（現与党）	OİB	首相府民営化管理庁
BDDK	銀行監督庁	PKK	クルディスタン労働党
BDP	平和民主主義党（クルド政党）	PYD	シリア民主主義連合党
BOT	建設・運営・譲渡方式	RP	福祉党
CHP	共和人民党（最大野党）	RTÜK	ラジオ・テレビ高等機構
DEP	民主党	SNC	シリア国民評議会
DHKP/C	革命人民解放党/戦線	SPK	証券取引監査院
DHMI	国家航空局	SSM	防衛産業庁
DISK	先進労働組合連合	TBB	トルコ弁護士協会／トルコ銀行協会
DTK	民主主義社会評議会	TCDD	トルコ国鉄
DTP	民主社会党	TDHB	トルコ歯科医師会
DYP	正道党	TESK	トルコ商工業連合
EDAM	経済外交政策センター	THY	ターキッシュ・エアラインズ
EPDK	エネルギー市場監督庁	TİKKO	トルコ労働者・農民解放軍
HDP	人民民主党（クルド政党）	TMMOB	トルコ・エンジニア・建築会議連盟
HSYK	裁判官・検事高等委員会	TOKİ	トルコ集合住宅開発局
İDO	イスタンブール海上フェリー会社	TOMA	放水装甲車
İHH	人権・自由・人道支援団体	TPAO	トルコ石油公団
İKSV	イスタンブール文化芸術財団	TTB	トルコ医師会
İSO	イスタンブール産業会議所	TÜBITAK	トルコ科学技術研究機構
işİD	イラク・レバントのイスラム国（アルカイダ系）	TÜİK	トルコ統計庁
İTO	イスタンブール商工会議所	TÜPRAS	トルコ石油精製会社
KCK	クルディスタン共同体同盟（PKK系）	TÜSİAD	トルコ産業・実業家協会
KESK	公務員労働組合連合	TÜYİD	トルコ投資家関係協会
KRG	北イラク政府	YÖK	トルコ高等教育評議会
MHP	民族主義者行動党（野党）	YSK	選挙高等委員会
MIT	国家諜報機関		

注：本文中のニュースソースの略称は以下の通りです。

トルコ語新聞		英字新聞		通信社	
Akşam	A	Economist	EC	Anadolu News Agency	AA
Cumhuriyet	C	International New York Times	INYT	Agence France Presse	AFP
Haberturk	HT	Hürriyet Daily News	HDN	Cihan News Agency	CA
Hürriyet	H	Today's Zaman	TZ	Doğan News Agency	DA
Milliyet	M			İhlas News Agency	IA
Posta	P			Interpress	IP
Radikal	R				
Sabah	S				
Taraf	T				
Vatan	V				
Zaman	Z				

在イスタンブール日本国総領事館

電 話：0212-317-4600、FAX：0212-317-4604、E-Mail：istanbulweekly@it.mofa.go.jp

W E B：http://www.istanbul.tr.emb-japan.go.jp/index_j.html

Facebook：http://www.facebook.com/Japonya.Istanbul.Baskonsoloslugu

●トルコに90日以上滞在される方は総領事館に在留届を提出願います。

●新たに配信希望される方、あるいは今後の配信を希望されない方は、以下のメールアドレスにご連絡ください。

istanbulweekly@it.mofa.go.jp

★当館 HP 更新のお知らせ★

●バルタリマヌ日本庭園「春のこども祭り」開催報告（6/4）**NEW**

●治安速報：イスタンブール（05/28）**NEW**

●国外転出時課税制度の創設について（06/03）**NEW**